

別添資料

(神戸管理センターより推薦)

- 工 事 名 : 垂水 JCT C ランプ橋他 3 橋耐震補強工事
- 受 注 者 : (株)五大コーポレーション
- 工 事 箇 所 : 兵庫県神戸市垂水区名谷町(垂水 JCT)～兵庫県淡路市岩屋(淡路 IC)

- 工 期 : 平成 27 年 3 月 10 日～平成 28 年 5 月 12 日
- 請 負 額 : 202,640,400 円(税込)
- 工 事 概 要 : 耐震ネットワーク整備の一環として海峡部最短区間(垂水 JCT～淡路 IC 間)の耐震補強工事を推進。
このため、垂水 JCT と淡路 IC のランプ橋各 2 橋ずつの橋脚補強工、上部構造補強工、落橋防止システム等耐震性能向上のための工事を実施したものである。
橋脚補強工 RC巻立 7 基
上部構造補強工 炭素繊維シート貼付 300 m²
落橋防止システム 変位制限構造 11 基
- 表 彰 理 由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で工事全般に優良であり、特に品質管理、安全管理等に優れている工事と認められましたので表彰するものです。
 - 当該工事は、複雑な構造の垂水 JCT 及び淡路 IC 内において、垂水 JCT の C ランプ橋、I ランプ橋及び淡路 IC の A ランプ橋・B ランプ橋で、多くの対外協議(自治体協議:兵庫県道・淡路市道、警察交通規制協議:本線(ランプ含む)・県道・市道、埋設物協議:KDDI・NEXCO・阪神高速の光ケーブル)を進め、円滑に工事を進めた。
 - 工事対象箇所が供用中の交通量が多い2車線ランプ等で作業スペースに制約のあるなか、複数の光ケーブル等埋設物に近接した施工であったが、適切な防護を行い、無事故無災害で安全に工事を完了させた。
 - 垂水 JCT C ランプ橋5P 施工時は、ランプ規制を実施しなくても作業員が施工箇所まで安全に移動できるのり面昇降設備などを設けることにより、交通規制回数を半減させた。
 - 淡路 IC A ランプ橋施工時に車道4車線及び歩道が完備されている県道佐野仁井岩屋線の橋脚補強などの施工であったが、県道への第三者被害防止対策として支保工による防護枠及び防護シートを設置し十分な安全

対策を行った。

- 垂水JCT ランプ施工中に近接箇所が発生した通行車両事故の早期通報及び走行車両の誘導など適切な対応を行い、交通管理にも貢献した。

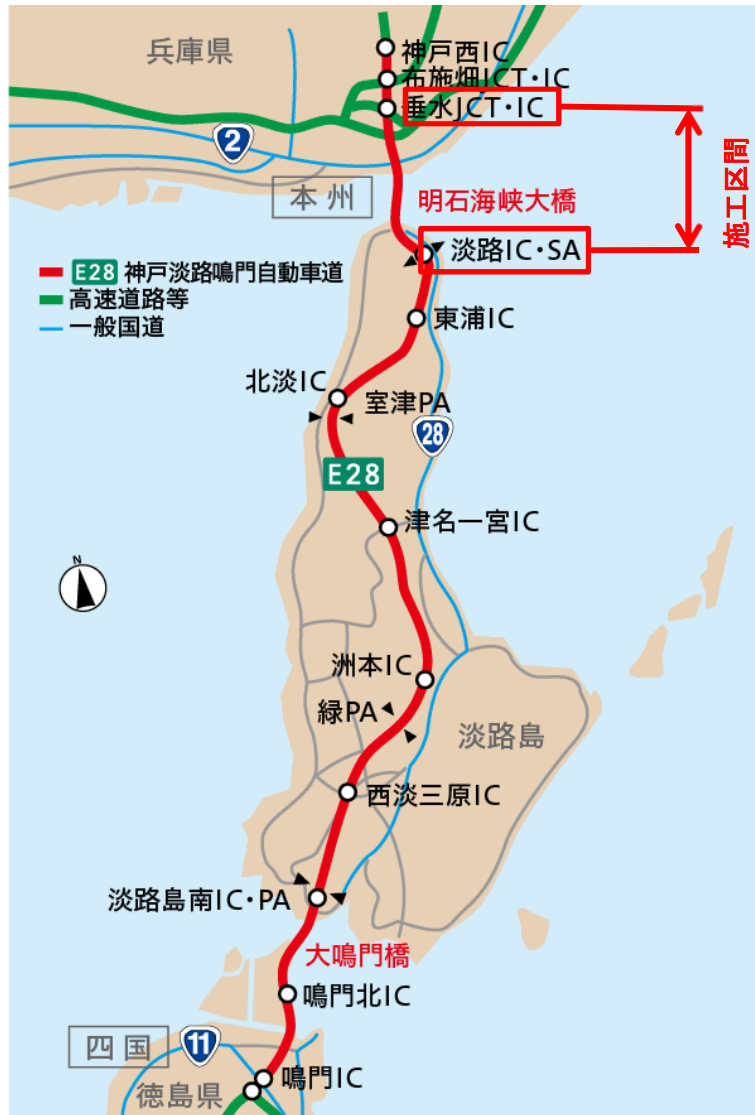


図-1. 垂水 JCT C ランプ橋他 3 橋耐震補強施工位置図



写真—1, 2 光ケーブル等埋設物の近接施工状況



写真—3. 4安全通路設備の設置状況



写真—5. 6 県道の近接施工、仮設防護の設置

(鳴門管理センターより推薦)

- 工 事 名 : 第六伊弉高架橋塗替塗装工事
- 受 注 者 : (株)ミノオ
- 工 事 箇 所 : 兵庫県南あわじ市阿那賀字伊弉
- 工 期 : 平成 28 年 7 月 28 日 ~ 平成 29 年 3 月 10 日
- 請 負 額 : 82,080,000 円 (税込)
- 工 事 概 要 : 本工事は、国立公園内に位置する第六伊弉高架橋の全面塗替塗装を行うものである。既存塗膜には鉛が含まれているため、鉛中毒予防規則により、従来型の乾式による下地処理が実施できない。また、施工場所が急峻な位置にあり、現場事務所から工事現場まで離れていて、本線未供用地を歩行する必要がある。

下地処理工	2,418 m ²
塗替塗装工	2,418 m ²
支承溶射工	6 基
附帯工	— 1 式

- 表 彰 理 由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で工事全般に優良であり、特に品質管理、安全管理等に優れている工事と認められましたので表彰するものです。

- 塗替塗装工事は、塗替対象の既存塗膜に鉛が含まれている(クリーンルーム設置)ことから、下地処理については、ブラストノズル部で研掃材と水が混合されるモイスター式の湿式ブラストで行い、作業時に鉛濃度の環境測定を行いながら、作業環境の維持に努めた。また、足場内に養生シートを隙間なく敷き詰め、塗膜除去水の漏洩、粉じんの飛散防止にも積極的に努めた。
- 下地処理工施工時の足場内の作業環境を改善するために換気設備(送風機)を設置した。その際、送られてきた空気は、フィルター管を通して粉塵除去を行った後、外部に排出した。
- 仮設工では、現場事務所から工事現場までの本線未供用地の歩行ルートに足場板・階段等を設置し、作業員の安全性向上に努めた。
- 制約条件の多い現場であったが、地元住民や観光客等とのトラブルもなく無事故、無災害で工事を完成させた。



图—1. 第六伊弉高架橋 施工位置图

塗替塗装施工場所



写真—1. 2 鉛含有塗膜対策（クリーンルーム）



写真—3. 湿式ブラストによる下地処理状況



写真—4. 足場内作業環境の改善



写真—5. 足場内部の養生状況



写真—6 作業員歩行時の安全性の向上

(しまなみ今治管理センターより推薦)

- 工 事 名 : 平成27年度今治管内舗装補修他工事
- 受 注 者 : 株式会社 愛亀
- 工 事 箇 所 : 愛媛県今治市上浦町甘崎～愛媛県今治市山路
- 工 期 : 平成27年12月22日～平成28年11月15日
- 請 負 額 : 162,237,600 円 (税込)
- 工 事 概 要 : 大島大橋側径間、アンカレイジ及び宮窪橋において、舗装補修及び床版防水を行うと共に、宮窪橋の伸縮装置取替を行うものである。また、大島南ICにおいて舗装補修を行うものである。

路面標示工 約 3,750 m

切削オーバーレイ工 約 8,600 m²

床版防水工 約 5,300 m²

地覆防水工 約 1,300 m²

- 表 彰 理 由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で工事全般に優良であり、特に品質管理、安全管理等に優れている工事と認められましたので表彰するものです。

- 路肩養生に工夫を行い、原自歩道の安全走行確保及び工事の効率化を図った。
- 原自歩道の工事看板に英語を併記し、工事の安全を図った。
- 作業員の熱中症対策のみならず、サイクリストへの冷風扇設置、空気入れの提供を行い、地域へ貢献した。
- 宮窪トンネル内で発生した交通事故対応に協力し早期交通解放できた。
- ドライブレコーダー映像を利用し、安全協議会の資料として説明を行い安全教育の充実を図った。また、現場ライブカメラを設置し、遠隔地でも現場が状況確認できるよう映像 CIM を活用した。



図—1. 平成27年度今治管内舗装補修他工事 位置図



写真—1. 原自歩道の路肩養生の工夫



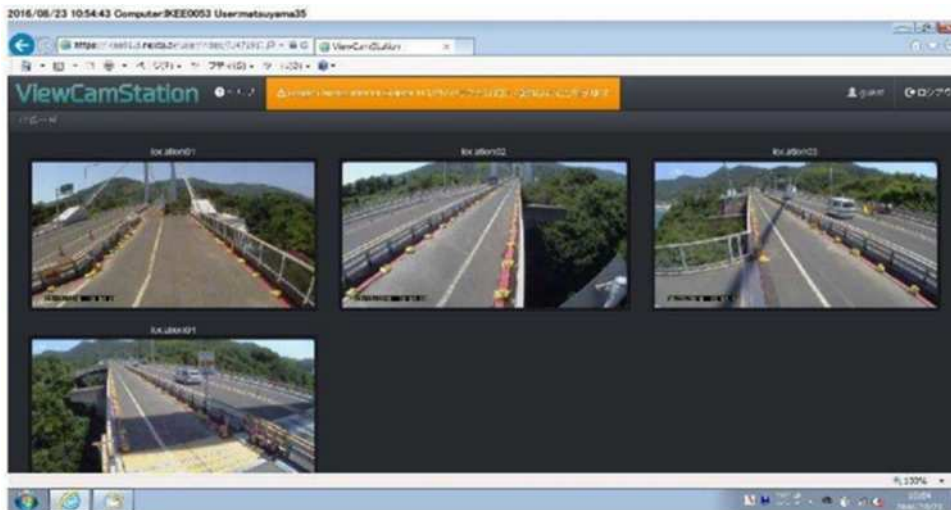
写真—2. 原自歩道の工事看板に英語を併記



写真—3. サイクリストへの冷風扇設置、空気入れの提供



写真—4. 近接する宮窪トンネル内の事故処理に協力



写真—5. 映像 CIM の活用